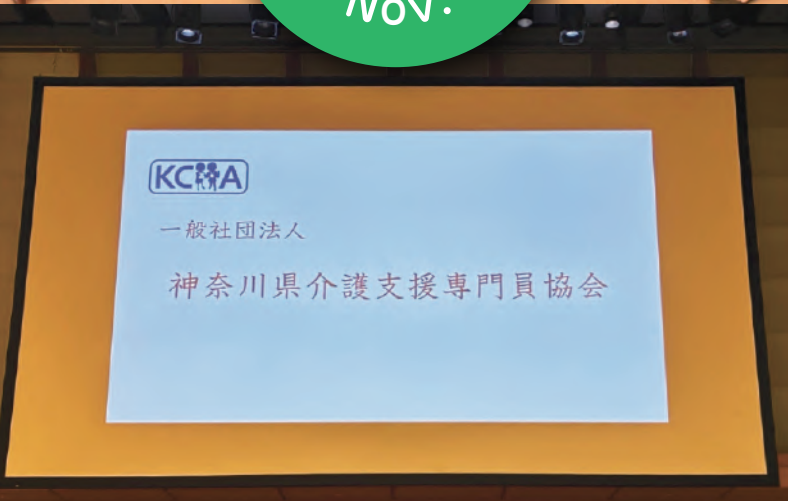


ケアマネ通信

令和7年11月27日発行



第25号
2025
Nov.



日本介護支援専門員協会全国大会レポート

令和7年11月1日・2日の二日間、第19回日本介護支援専門員協会20周年記念全国大会が東京国際フォーラムにて開催されました。全国から800名を超える参加者が集い、盛会のうちに幕を閉じました。

柴口大会長からは、少子高齢化や人材不足、複雑化する生活課題といった、介護支援専門員を取り巻く厳しい現状が示されました。これに対し、特別講演では「実践知の言語化」という方向性が提示されています。これは、私たちの経験知を共有・体系化し、今後の生涯学習体系の構築へとつなげるための重要な視点となります。

また、各分科会では、理論を現場に活かすための実践的な取り組みが多数紹介されました。特に、仕事と介護の両立支援や生成AIを活用した業務効率化など、具体的な課題解決策が示され、日々の業務に直結する多くの学びを得ました。

さらに、協会の20年の歩みを振り返る「リレーメッセージ」や懇親会での活発な意見交換は、私たちの連帯を再確認する貴重な時間となりました。本大会には、当協会の理事・会員も多数スタッフとして参加し、大会運営を支えました。

理論と実践、そして情熱が交錯した本大会は、私たち介護支援専門員が次世代へとバトンをつなぐための確かな礎となるものと強く感じさせられる大会となりました。

広報出版委員・全国大会実行委員 諏訪部 弘之

目次

介護フェアinかながわ 出展報告	2
ケアプランデータ連携システム特集	3
早く慣れたい、ケアプランデータ連携システム	3
ケアプランデータ連携システムを使って	4
ケアプランデータ連携について	4

データ連携の感想	5
ケアマネリレーコラム	6
令和7年度 災害派遣福祉チーム予備研修	7
編集後記	7
インフォメーション	8

介護フェアinかながわ 出展報告

～地域とつながる、ケアの未来を考える一日～

11月1日(土)、今年度も広報出版委員会は「介護フェアinかながわ」にブースを出展いたしました。会場は多くの来場者で賑わい、介護に関心を持つ市民の皆様と直接交流できる貴重な機会となりました。

当委員会では、各地域の介護保険制度のパンフレットを用意し、来場者の皆様に配布いたしました。特に初めて介護に関わる方々から「とても参考になった」と好評をいただきました。また、ケアマネジャーの役割や仕事の内容についても紹介し、資格取得を目指す方や、現在介護に悩みを抱えている方々の相談に対応しました。相談内容は多岐にわたり、制度の利用方法から地域資源の活用まで、実際の現場での課題に即したものが多く、改めて情報提供の重要性を実感しました。

横浜市を中心に、県内各地から多くの方がブースに足を運んでくださいました。「介護のことで困ったら、まずはケアプラザやケアマネジャーに相談する」という声が多く聞かれ、ケアマネジャーの存在が地域に浸透してきていることを肌で感じる場面もありました。中には、「ケアマネジャーさんとの関わりに悩んでいましたが、話ができて良かった」と言われる方もおり、私たちの活動が誰かの支えになっていることを改めて実感しました。

出展を通じて、地域住民とのつながりを深めるとともに、ケアマネジャーの役割や魅力の発信、介護保険制度の理解促進に貢献できたことを嬉しく思います。今後も、広報出版委員会として、わかりやすく、親しみやすい情報発信を心がけながら、地域に根ざした活動を続けてまいります。

広報出版委員会 委員長 佐藤 明

ケアプランデータ連携システム特集

早く慣れたい、ケアプランデータ連携システム

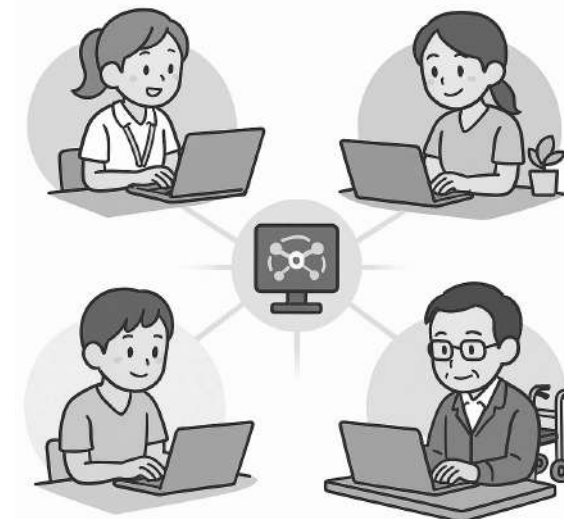
地域包括支援センター湘南鎌倉 管理者 宮谷 清美

ケアプランデータ連携システムの無料キャンペーンをきっかけに、当センターでも導入を決定しました。国民健康保険中央会による説明会に参加した際、「これならできそう!」という直感があり、その勢いで申し込みました。

市内には地域包括支援センターが10箇所ありますが、現在このシステムを導入しているのは4箇所。そのうち1箇所は積極的に活用しており、業務にしっかりと組み込まれている様子です。残る2箇所は導入済みではあるものの、操作に不安があるようで、まだ事業所との連携には至っていません。そして当センターでは、まだ操作に慣れていないこともあり、毎月マニュアルを確認しながら少しずつ連携先を増やしている段階です。

実際に運用してみた感想としては、ITに不慣れな私にとって、業務の効率化を実感するにはもう少し時間が必要だと感じています。一方で、郵送費や印刷費などの事務経費の削減にはすでに効果が表れており、導入のメリットを実感しています。また、今後ファックス等で送られてくる紙の量が減ることで、文書の保管スペースの縮小にもつながるのではないかと期待しています。

現在はキャンペーン期間中のため利用料は無料ですが、今後費用が発生することを考えると、より効果的に活用できるよう、操作に慣れていきたいところです。そのためにも、自身のスキル向上はもちろん、同じ介護ソフトを利用している事業所との交流を深め、疑問点をお互いに確認し合えるようなコミュニティづくりができればと考えています。



ケアプランデータ連携システムを使って

みちテラス 管理者 石塚 敏樹



私たちは、鎌倉市にある35名定員の共生型の通所介護事業所、生活介護事業所です。

当事業所では2024年の冬以降、ケアプランデータ連携システム（以下、連携システムと言います）の利用申請諸手続きや、電子証明書のインストールなどを行って準備を進めていましたが、職員の異動や介護ソフト（請求ソフト）の入れ替え等があり、実際の導入が進まずにいました。

今回、請求ソフトの入れ替えがひと段落したことと、市内の居宅介護支援事業所から連携システム導入のご案内があったことから、当事業所でも連携システムの利用を開始することとしました。

作業は「スタートガイド」に従って進め、インストールやセットアップは順調に終わり、次に居宅介護支援事業所宛に実績の送付を行うこととしました。当事業所で現在使用している請求ソフトは連携システムに対応しており、請求ソフトの説明書も参考に作業を進めましたが、途中、送信データのアップロードの際に「標準仕様の送信単位に従ったファイルを添付してください。」とのエラーメッセージが表示され、作業が中断してしまいました。

しかし、「ケアプランデータ連携システム ヘルプデスクサポートサイト」の「よくある質問」を確認し、インストールした連携システムが最新のバージョンではないことが分かったため、サポートサイトの説明に従ってアップデートを行い、不具合を解消しました。その後、送信データのアップロードもでき、無事に連携システムでの初めてのデータ送付を終えました。

作業を終えて、「スタートガイド」等の説明書を読みながら作業を進めれば、導入から利用まで比較的スムーズで、上述の「ヘルプデスクサポートサイト」も確認しながら作業を行うと、より安心と感じました。

これから導入を検討している事業所の皆様にとっても、私たちの経験が参考となれば幸いです。

ケアプランデータ連携について

セコムケアステーション鎌倉 下城 睦



令和7年6月から、厚生労働省が1年間無料にするからぜひ導入してねとおすすめしてくださいましたので、やってみようと、事業所内で相談し取り組んでみました。

まず必要なのは、ケアプーちゃん（かわいいプードルがトレードマーク！）のシステムをPCにダウンロードすること、そしてKJ番号とパスワードを確認すること（KJ番号は国保連に請求をあげるときに使っている番号。事業所ではわかっておらず、神奈川県に問い合わせ、ついでに仮パスワードも発行していただきました）で、無事にシステムを使えるようになりました。

続いて、自社のソフトから事業所に送る提供表をPCにダウンロード（国保連に請求する際にCSV化しているので、ボタン一つですぐできます）して、その後、ケアプーちゃんにアッ

プロード。

続いて、ケアプー上で、提供表に位置付けてある事業所あてに一括で送信！

あとは、相手方の事業所がケアプーちゃんを入れてくれていたら、ボタン一つでこちらが送信した提供表を、自社のソフトにボタン一つで取り込めます（ほんとは、こちらが送る予定と相手方の計画が一致していないと取り込まれないとか、まだまだ検証が必要なのも事実です）。

そして、ケアプーちゃんのありがたみを一番感じるのは、実績を自動で取り込めたとき…変更が多い訪問介護、加算が多い通所介護、単位数がちよいちよい変わる福祉用具など、書き写して実績をポチポチ変更…眼はショボショボ…だったのが、ワンクリックで全部入ります！！！！

ただ、双方がケアプーちゃんを導入していないと、恩恵にあずかれないのです。ペーパーレス、ICT化の波に乗ってみませんか？みんなで乗りましょう！！というお誘いです。決して厚生労働省の回し者ではございません…。

ケアプランデータ連携システム ヘルプデスクサポートサイト

<https://www.careplan-renkei-support.jp>

データ連携の感想

メディケアセンター鎌倉 加藤 啓太



【データ連携の良いところ】

- ・紙の出力がなくなるので、スムーズに送受信ができるのであれば、活用しやすい。
- ・「実績」の手渡しや、郵送でのお渡しに比べて、月末ギリギリまで時間があるので、お渡しまでに余裕をもてるため、修正が少ない。
- ・「実績」はデータ送信なので、ペーパーレス。
- ・「提供票」は、データ取り込み後に印刷しているので、きれいで見やすい。

【データ連携の微妙なところ】

- ・「提供票」はデータ取り込み後に印刷しているので、ペーパーレスにはなっていない。
- ・国保中央会のものだと、ソフトをダウンロードする関係上、1台のPCでの利用になるが、カナミックのようなクラウドでの対応だと、自分の机のPCで出来るので、余計な準備が必要なくなるから、より対応しやすい。
- ・施設的环境によるのか、作成の仕方によるのか、データ連携で届いた提供票を見ると、1人に対して5枚以上の提供票や別表が出るところがある。
サービス事業所側は、紙で送ってもらう方が見やすい場合もある。

【紙の面倒なところ】

- ・手渡しや郵送は、お渡しまでに時間がかかるため、早くに印刷する必要がある。
- ・修正、追加が多い。
- ・修正の際の、FAX送付票を書かなければいけないのが手間。

～神奈川県で働くケアマネジャーが日々思ったことなどを綴っていきます～

ケアマネリレーコラム

株式会社ケアネット ケアステーション幸 須山 暢彦

皆様こんにちは。ひかりデイサービス妻田の遠藤さんよりバトンを受け取りました、川崎市幸区にあるケアネットケアステーション幸の須山と申します。

コラムテーマが「現在の活動状況や地域のこと、日々思ったことなど」との事ですので、最近私がはまっていることを書いてみたいと思います。それは「霞が関文学」の鑑賞です。

協会の委員会活動などで、法令に触れる機会は多かったのですが、日曜劇場『御上先生』を見たあたりから、霞が関文学の美しさの側面に魅せられるようになり、その独特すぎる修辞（ゆえの分かりにくさ）に感動を覚える思考回路となっていました。

そんな私が今、鑑賞をお勧めしたい文章がこちらです。

『介護支援専門員は、サービス担当者会議（介護支援専門員が居宅サービス計画の作成のために、利用者及びその家族の参加を基本としつつ、居宅サービス計画の原案に位置付けた指定居宅サービス等の担当者（以下この条において「担当者」という。）を招集して行う会議（テレビ電話装置その他の情報通信機器（以

下「テレビ電話装置等」という。）を活用して行うことができるものとする。ただし、利用者又はその家族（以下この号において「利用者等」という。）が参加する場合にあっては、テレビ電話装置等の活用について当該利用者等の同意を得なければならない。）をいう。以下同じ。）の開催により・・・』

言わずと知れた『運営基準第十三条の九』。担当者会議についての記述の前半部分です。この文章の美しさは何より、括弧の中に括弧、さらにその括弧の中にまた括弧、そしてかぎ括弧、という、まるで数式のごとき構造に凝縮されます。この括弧の罫により、文章の意味を初見で理解することは、ショパンのピアノソナタを初見で弾くことよりも難しいのでは、とさえ思わせてくれる程です。運営基準のその他の条項を含め、ここまでの名文にはなかなかお目にかかれません。

川崎市の活動においても制度関連の研究運営を行うことがありますが、「苦手」との声を聞きがちな法令解釈について、こうした別の角度からも親しむきっかけにならないかと、割と本気で考え始めているところです。

令和7年度 災害派遣福祉チーム予備研修

当協会は職能団体として、神奈川DWAT（神奈川県災害派遣福祉チーム）と協定を締結しています。

このたび、当協会として神奈川DWATに会員を送り出すにあたって、ケアマネジャーとしての基本的な知識や役割を理解するための研修会を、12月16日（火）に開催いたします。お申込み方法等の詳細は、ホームページでご確認ください。

本研修を修了された方につきましては、令和8年度に神奈川県が開催予定のDWAT登録研修の受講者として、推薦する予定となっています。

編集後記

先日、20年以上通っている通勤路で、道端の「町名地番案内図」にふと目がとまりました。「ここにあったっけ?」と、自分でも驚くほど新鮮な発見。毎日のように通っていたはずなのに、これまで全く意識していませんでした。

カーナビやスマホの地図が当たり前になってから、こうした看板を見る機会は少なくなった気がします。便利になった分、街の片隅にある案内図は、静かに存在感を薄めていたのかもしれませんが。

でも、見慣れた風景の中にも、視点を変えれば新しい発見があります。利用者さんやご家族の暮らしも同じで、一見変わらないように見えても、小さな変化やサインが隠れていることがあります。

これからも、見慣れた風景の中にある“初めて”を見逃さない目を持ち続けたい。そんなことを、道端の案内図が教えてくれました。

広報出版委員長 佐藤 明



■メールアドレス登録のお願い

会員の皆様へ、当協会主催研修等の情報をメールでご案内しています。

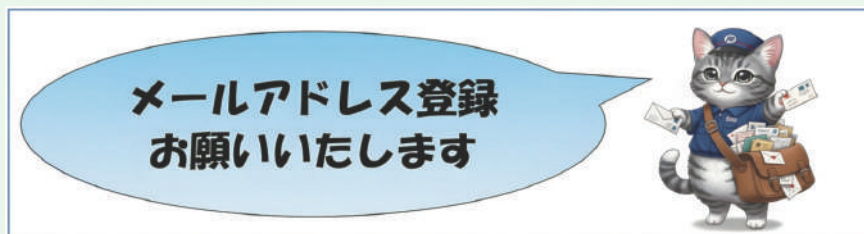
このたび「メールアドレスご登録のお願い」のバナーデザインをリニューアルしました。

メールアドレスの登録がお済みでない方は、当協会ホームページ「ケアマネの森」のトップページ「メールアドレスご登録のお願い」、またはQRコードより、ご登録をお願い致します。会員様限定で、お得な情報が届きます！

すでにご登録を頂いているメールアドレスを変更したい方も、こちらから変更をおこなってください。**当協会主催研修等のお知らせが届いていない会員の方は、アドレス登録されていない可能性があります。**この機会にぜひ、よろしくお願いいたします。



メールアドレス
ご登録はこちら↑

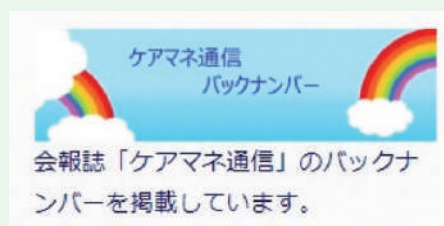


■ケアマネ通信 アンケートご協力のお願い

今後のケアマネ通信がより良いものになるよう、アンケートを実施しております。

当協会ホームページ「ケアマネの森」のトップページ「ケアマネ通信バックナンバー」より、アンケート（Google フォーム）にご協力ください。

<https://www.care-manager.or.jp/iinkai/kouho.html>



お手持ちのスマートフォンからも、ご回答いただけます。

会員の皆さまからのご意見・ご要望をお待ちしています。



◎編集 / 発行

一般社団法人

神奈川県介護支援専門員協会

広報・出版委員長 佐藤 明



Facebook
はこちら↑



ホームページ
ユーザーはこちら↑

Contact

一般社団法人神奈川県介護支援専門員協会 事務局
〒231-0023

横浜市中区山下町 23 番地 日土地山下町ビル 9 階

TEL 045-671-0284 FAX 045-671-0287

E-mail jimu@care-manager.or.jp

H P <https://www.care-manager.or.jp/>